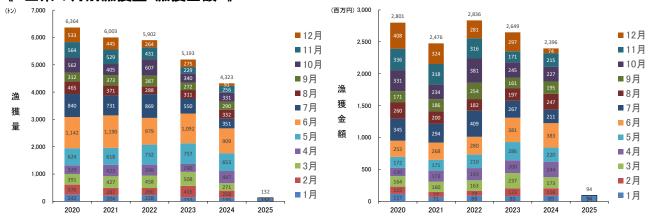
秋田県漁獲情報(令和7年1月)

発行:秋田県水産振興センタ

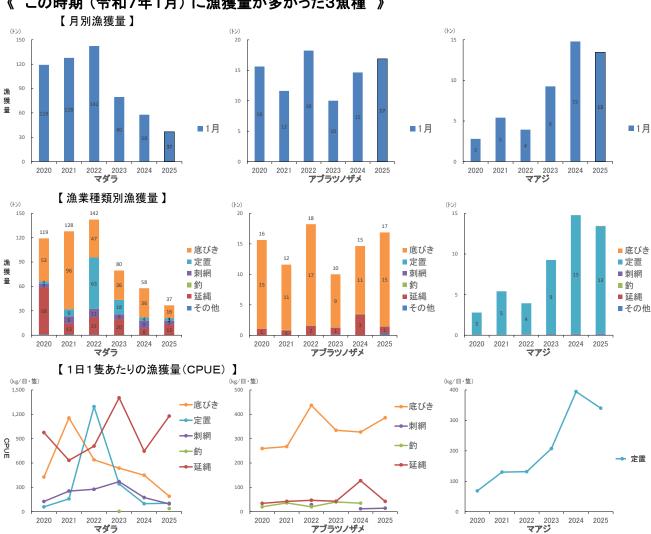
- 1月の漁獲量は132t、水揚げ金額は94百万円と、漁獲量は2020年以降で最も少なかったものの、水揚げ金額は 2020年に次いで高かった。これは、単価の高いスルメイカ、アカムツ、ハタハタ等が近年では良く獲れたことによると考えられる。
- 漁獲量上位3魚種は、マダラ(37t)、アブラツノザメ(17t)、マアジ(13t)で、全体の51%を占めた。
- マダラの漁獲量は前年同期の約6割にとどまり、2023年以降減少傾向が続いている。
- アカムツの漁獲量が4.5tと前年同期の約2.5倍であり、2023年以降増加傾向が続いている。

全県の月別漁獲量・漁獲金額 》



* 2022年4月以降の漁獲金額は、秋田県漁業協同組合HP参照

この時期(令和7年1月)に漁獲量が多かった3魚種》



《 令和7年1月の特徴的な魚種 》

2024合計

前年比(%)

13.719

72%

19.343

82%

10.675

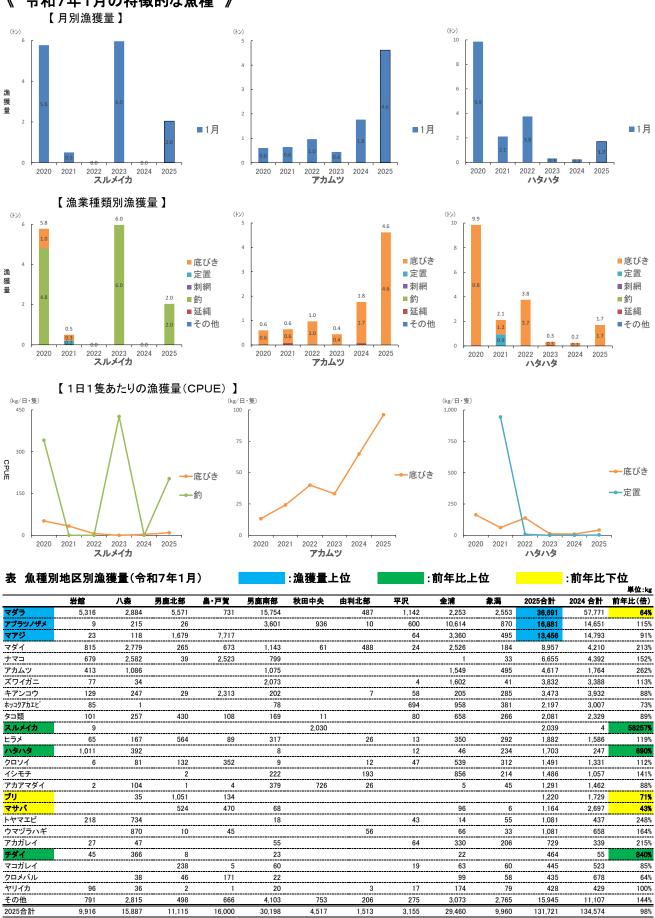
104%

12.988

123%

24.542

123%



6.124

74%

1.727

88%

7.814

40%

25,832

114%

11.809

84%

134.574

98%